## A generalized Fourier transform and the Schrödinger operator with the inverse square potential

## 渡辺秀司 群馬大学 理工学研究院 数理科学教室

特異な変数係数をもつ  $L^2(\mathbb{R})$  上の作用素

$$\mathcal{D}_c = \frac{\partial}{\partial x} - \frac{c}{x}R$$
,  $Ru(x) = u(-x)$ ,  $c > -\frac{1}{2}$ 

は量子力学における Wigner の交換関係に従う 1 次元調和振動子系に登場する.  $p=-i\mathcal{D}$  とおく. このとき、Wigner の交換関係は以下の通り: ip=[x,H] and -ix=[p,H]、ここで、ハミルトニアン H は  $H=(p^2+x^2)/2$ . この作用素  $\mathcal{D}_c$  について:

- (1)  $L^2(\mathbb{R})$  上の作用素  $\mathcal{D}_c$  を  $L^2(\mathbb{R})$  上の掛け算作用素 y へ変換する積分変換  $B_c$  を導入する. 定数 c が c=0 のときは、積分変換  $B_c$  は Fourier 変換に一致するので、Fourier 変換の 1 つの一般化とみなせる.
- (2) 次に、積分変換  $B_c$  を用いて Sobolev 型の空間を定義して、Sobolev 型の埋め込み定理を証明する。 定数 c が c=0 のときは、この埋め込み定理は Sobolev の埋め込み定理を再現するので、Sobolev の埋め込み定理の 1 つの一般化とみなせる.
- (3) このアイデアを多次元の場合へそのまま拡張して、逆2乗ポテンシャルをもつ Schrödinger 作用素へ応用してその自己共役性を議論し、他の手法による結果と比較する.

## 参考文献

- [1] N. Okazawa, On the perturbation of linear operators in Banach and Hilbert spaces, J. Math. Soc. Japan **34** (1982), 677-701.
- [2] S. Watanabe, An embedding theorem of Sobolev type for an operator with singularity, Proc. Amer. Math. Soc. 125 (1997), 839–848.
- [3] S. Watanabe, The explicit solutions to the time-dependent Schrödinger equations with the singular potentials  $k/(2x^2)$  and  $k/(2x^2) + \omega^2 x^2/2$ , Commun. Partial Differential Equations 26 (2001), 571–593.
- [4] S. Watanabe, The motion of a quantum mechanical particle under the inverse square potential, Applicable Analysis 81 (2002), 607–613.